



特定非営利活動法人なかのドリーム 2019年10月 12号

私たちは重症心身障害児者のサポート団体です

<http://nakanodream.main.jp/>

〒164-0012 中野区本町 6-36-5-102 TEL03-6454-1230 fax03-6454-1231

<わたしたちの理念>

みんなの笑顔と未来のために！

**NPO 法人なかのドリームは重い障がいのある人と家族
が安心して暮らせる地域をつくります**

<法人のなりたちについて>

2007年8月に、当時の中野区立療育センターアポロ園に通っていた保護者が集まり、「重度心身障害児親子の会おでんくらぶ」を発足いたしました。重度障害者のお母さま方との交流会や、ボランティアさんによる遊びの会、講習会などを不定期に開催し、集まる場をもうけることから始めました。

やがて、社会福祉法人 愛成会のメイプルガーデンを使わせていただけることになり、中野区医師会の先生方や、区内で勤務していた看護師さん、社協のボランティアさんら多数の方が集まり、月一回定期的な活動を開始。「在宅で医療的ケアのある重度のお子さんがこれほど区内にいるとは知らなかった」という声が、当時は多くよせられたのです。

おでんくらぶの名称は、区の施設を借りるために団体名をつけなければならず、おでんがたべたいねと話していたところから「おでんくらぶ」にしました。まさか12年後にこの名前を事業で使用するとは思ってもよらなかったのですが、今ではたくさんの具材(子どもたち)が集まる楽しい居場所づくりをしたいという気持ちを込めている、と説明しています。

2015年には法人化し、児童福祉法改正に伴う新規の事業体「児童発達支援と放課後等デイサービス」の重心多機能型施設をはじめました。事業開始にあたり、多くの皆様にご支援いただき今につながっていることは、わたくしどもの励みになっております。翌年には「訪問介護なべ」も開所いたしました。

わたしたちの理念の「みんな」は、当事者だけでなく関わる職員や家族すべてを含んでいます。安心して頼れる場が増えると、それぞれの自立につながり、生き生きと人生を過ごせるようになります。生きることは暮らすことです。暮らしの中で地域でのつながりが心身ともに支えになることを、自主グループの時に実感いたしました。今後も地域の皆様に支えていただきながら、事業を継続していきたいと思っております。

【監事交代のお知らせ】

9月7日の臨時総会で監事が交代いたしました。三輪操子先生には、設立当初から監事として、法人の監査をしていただき、ありがとうございました。新監事には、中野区社会福祉協議会課長の松本洋子さんが就任いたしました。

ご寄付いただきました

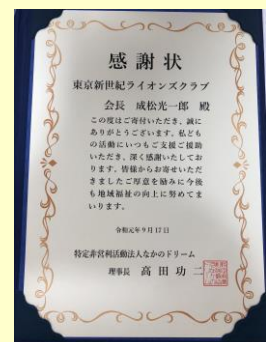
東京新世紀ライオンズクラブ様より、今年度もチャリティーゴルフ大会でのご寄付で、素敵なプレゼント「エアートランポリン」をいただきました。

身体を動かし揺れを感じるのが大好きな子どもたちばかりなので、嬉しいプレゼントです。活動の内容も楽しくなります。

毎年ご寄付いただいております「東京新世紀ライオンズクラブ」の前会長成松光一郎様あてに、感謝状をお送りいたしました。ご支援を励みに、職員一同これからも誠心誠意、子どもたちのために頑張ります。ありがとうございました。



3メートル四方の大きなトランポリン



感謝状をお送りいたしました

◆おでんくらぶ夏休みの活動



阿佐ヶ谷の七夕祭りや、信濃町の「民音音楽博物館」に行ってきました。

◆おでんくらぶ事業報告



*登録者数:32名(児童発達支援7名・放課後デイサービス25名)

10月現在【中野区18名 杉並区9名 渋谷区4名 目黒区1名】

*月利用のべ人数と一日の平均利用人数、および利用率

6月	7月	8月	9月
83人	113人	95人	95人
4.4人	4.35人	4.5人	4.1人
88%	87%	90%	83%

【お母様からメッセージ】おでんくらぶのデイ見学时、職員がオーバーリアクションで我が子を褒めていて、本人も大変喜んでいる姿を目の当たりにし、自分に足りないのはこれだ!と気が付きました。それ以来、元来気が短くてすぐに血の気が上がる自分との我慢比べ。障害児だからこそ、こちらの心を見透かしています。いくら綺麗事を言っても一番身近な存在に対して、優しいお母さんじゃないといけないな、と、家族への小言をぐっと我慢することから始めました。さすがに夫を褒めることはまだできませんが(笑)、子供を最大限に褒めることを心がけています。あれもできない、これもできない我が子がひとつひとつできる事が増える中で、私も彼女から、寛容の精神を学んでいます。24時間一緒に居ると、それもなかなか難しいですが、離れて自分の時間を作る中で優しいお母さんを取り戻しています。放課後デイに感謝の日々です。

★7月8月入社非常勤「児童指導員」成田幽夏子・「指導員」寺田志帆

◆訪問介護なべ事業報告



*利用者数:18名【中野区17名 新宿区1名】

【職員からメッセージ】訪問介護は、移動も仕事もきついというイメージがありますが、なべの利用者様はお子様からご高齢者様と幅広く、お子様の成長を身近に感じ、大先輩の人生の楽しみ方を聞かせていただき、一緒に心から喜べます。より良い職場、やりがいのある職場、そして利用者様に「なべに依頼してよかった」といわれる職場を目指しております。利用者様には感動、感激をいただき、ヘルパーのだいご味を感じさせていただいております。今後ともよろしく願いいたします。

職員研修:7/27 重症児の療育について第二回実践編(つくば大学教授松原先生)・9/1 経営勉強会(重症児者地域生活研究所)

★看護大学講義★

9月12日に、帝京平成大学看護学科にて、なかのドリーム理事の福満が講義をおこないました。

毎年おでんくらぶでは、帝京平成大学看護学科学生さんの実習を受けています。今回は在宅看護論実習ガイダンスとしておでんくらぶの支援内容や看護内容などをお話しました。

また、人工呼吸器等の医療的ケアがある子の母として、日常生活や在宅における医療的ケアについても触れました。

<学生さんの感想・抜粋>

▼(家族の)負担の大きさを感じた。負担を減らすためにも医療的ケアでのサポートはもちろん情報の提供も重要なのではないかと感じた。▼放課後デイサービスはとてご家族の支えになっていると思いました。

賛助会費・寄付お願い

・賛助会費 1口 3,000円

・寄付金 1,000円~

賛助金か寄付金かを明記下さい

①【ゆうちょ銀行から振込】

[口座記号・番号]

00190-3-420254

同封のお振込用紙をご利用下さい

②【他金融機関から振込】

ゆうちょ銀行

[店名・店番] 019(ゼロイチキュウ)

[種目] 当座

[口座番号] 0420254

[口座名] 特定非営利活動法人
なかのドリーム